

# 公民館だより Toyosato

No. 60



豊里コミュニティ推進協議会  
豊里公民館広報  
4月号  
平成30年4月1日発行

## 30年度事業 スタートのご案内

<b>4月～3月 女性セミナー</b>	<b>4月～3月（毎月、随時）</b>	<b>6月～3月（隔月開催）</b>	<b>5月～2月</b>
<b>開幕将棋サー</b> [対象] 70歳までの成人女性 [内容] 教養講座、移動研修等	<b>歌声喫茶</b> [対象] どなたでも [内容] 交流、棋力向上	<b>いけばな教室</b> [対象] どなたでも [内容] 歌と珈琲等	<b>5月～2月</b> [対象] 地区市民 [定員] 15名
<b>5月～2月 シニアいきいきセミナー</b> [対象] 65歳以上 [内容] 教養講座、移動研修等	<b>ミュージック・ケア</b> [対象] どなたでも [内容] 音楽体操、演奏、合唱等	<b>寄せ植え教室</b> [対象] 地区市民 [定員] 30名	<b>6月～1月(3回)</b> [対象] 小学4年生以上 [内容] 小学生は保護者同伴 [定員] 20名
<b>6月～12月</b> <b>米山とのキッズ交流事業</b> [対象] 小5～中2 [定員] 後日お知らせ	<b>7月～3月 料理教室</b> [対象] 地区市民 [定員] 20名	<b>7月～ 成人事業</b> [対象] 成人男女 [定員] 20名 詳細は別紙ちらし	<b>6月17日 登山のつどい</b> [対象] 小学4年生以上 [内容] 小学生は保護者同伴 [定員] 20名
<b>8月15日</b> <b>コミュニティ夏祭り</b> 楽しいイベントがいっぱい	<b>9月2日</b> <b>市民大運動会</b> 全員参加で盛り上げよう	<b>日程は後日お知らせ</b> <b>親子クッキング</b> [対象] 3～5歳児及び保護者 [定員] 10組	<b>7月7日</b> <b>ランニングバイクレース</b> [対象] 未就学児 [定員] 50名～
<b>10月～2月</b> <b>子ども料理教室</b> <b>お菓子づくり教室</b> [対象] 小学生 [定員] 30名	<b>11月</b> <b>ちんどん講演会</b>	<b>11月～12月</b> <b>パソコン教室</b> [対象] 豊里地区市民 [定員] 15名	

## うず潮巻きなど4品に取り組む

### ～充実の料理教室、楽しく閉講～



3月8日、多目的研修センター農産加工実習室（調理室）において、第5回料理教室を開催しました。

今回は12名の皆さんに参加し、①うず潮巻き（主食）、②いわしのチーズ焼き（主菜）、③カニかまとみかんの酢の物、④おかから甘納豆蒸しパン（デザート）の4品に取り組みました。

料理のメインであるうず潮巻きでは、細巻きずしを作り、それらを組み合わせる作業に戸惑いも見られましたが、仕上がりは上々。切り分ける際には歓声があがりました。



酢の物は、みかんの酸味でさっぱりと仕上がり、皆さんにも好評でした。手慣れた作業で4品が見栄え良く完成。試食タイムでは今年度の感想もお聞きし、皆勤の2名の方に記念品を差し上げました。

## 自然と命の大切さ学ぶ

豊里小5年生が鮭の稚魚25万尾を放流体験



2月20日、旧北上川の豊里水辺の公園において、豊里小5年生54名が鮭の稚魚25万尾を放流しました。

これは、北上川漁業協同組合と同豊里支部が主催し、豊里公民館と豊里教育事務所の主管で実施。稚魚の放流体験を通じて自然と命の大切さを学び、川の愛護と環境保全の推進を図ることを目的として、前年度から実施しています。

稚魚は、昨年秋に捕獲した鮭から採卵し、体長5cm、体重1gに成長したもの。

この日は好天に恵まれたものの、時おり冷たい北風が吹く寒い日でしたが、子ども達は元気いっぱい。放流前の説明を熱心に聞き入っていました。

5年生の子ども達は、昨年11月に鶴波洗堰で行われた鮭の捕獲作業を見学の後、東和町の北上漁協大嶺ふ化



場での採卵・受精作業を見学。水槽に入れて稚魚になるまでの成長過程を学んでおり、説明もすぐに頭に入っている様子でした。

放流は、一人一人が稚魚の入ったバケツを持ち、桶（とい）にゆっくりと丁寧に放流し込んでいきます。



放流後、元気に泳ぐサケの稚魚

## ひとくちメモ 鮭の捕獲から稚魚の放流まで



1. 捕獲は10～11月
  2. 卵に精子をかけて受精させる
  3. ふ化槽に収容し、発眼するまで管理
  4. 約2ヶ月でふ化
  5. 1ヶ月間給餌飼育
  6. 育った稚魚を放流
- 【宮城県公式ウェブサイトより】



## ボランティア60人が参加・協力

### ～平筒沼クリーンアップ作戦展開～



3月17日、豊里と米山から集まったボランティアの皆さんによる、平筒沼周辺の清掃作業を実施しました。

この事業は、登米市環境市民会議の主催により、市内の重要な湖沼である長沼や平筒沼などの豊かな自然を守り、環境美化を図る目



的で、毎年春と秋の2回、クリーンアップ作戦を展開しているものです。

豊里コミュニティ推進協議会では、吉田コミュニティ推進協議会と協力して、平筒沼クリーンアップに参加。



それでも豊里・吉田地区から合わせて60人のボランティアが集結。早速作業に取りかかりました。約1時間半ほどの作業で、ペットボトルや空缶など、たくさんのゴミを収集しました。

桜の名所でもある平筒沼も、すばらしい環境の元で楽しく花見ができそうです。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。

今年度も工夫をこらした楽しい企画や催しなど、様々な公民館事業や地域づくり事業を進めて参ります。

今年度もご協力よろしくお願いします。（佐々木）

## 4月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
4月8日(日)	開幕・将棋サークル	公民館和室
4月16日(月)	第1回女性セミナー	公民館中ホール
4月21日(土)	平筒沼桜祭り 22日まで	平筒沼学習館他

## 編 集 後 記

彼岸が過ぎて寒さもゆる

み、春本番となりました。

いよいよ新年度のスタートです。

## 春をギヤザリングで表現 ～超人気講座 寄せ植え教室開催～



2月22日と3月1日の2回にわたって、いずれも公民館中ホールにおいて、人気の寄せ植え教室を開催しました。

今回も12月実施の冬の寄せ植え教室と同様、ギヤザリングという新しい技法を取り組みました。



豊里が誇るすばらしい人物や場所を発掘し、顕彰する、その名も大きく『豊里の人間国宝と世界遺産』。

人間国宝には、究極の良質米である献上米を二度にわたって生産する快挙を達成。加々巻の千葉利広さん。

世界遺産には、ほぼ町全域の排水を担い、災害防止にも大きく貢献している「番江排水機場」の登場です。

あなたの周りの凄い人や珍しい行事・文化、ここぞと思う場所・施設を推薦して下さい。取材に伺います。

2月22日には7名、3月1日には8名の皆さんが参加。新技法に挑戦しました。

最初に、講師の日野一樹先生(横町)からギヤザリングについての説明と、作業手順などの説明があり、自分なりにイメージを描きながら、それぞれ作業を開始。花材はビオラ、スカビオ

サ、アイビー、ジュリアンで、苗の土を取る根気のある作業からスタート。いくつもの花苗をくっつけて、バランスを見ながら組み合わせていきます。

皆さん集中して作業を進め、春を感じさせるこんもりとかわいいブーケのような寄せ植えが完成しました。



すてきな寄せ植えが完成、2月22日の作品(左)と3月1日の作品(右)

### お知らせ

『とよさとの人間国宝・世界遺産』は、次回から10月と4月の年2回の掲載となります。

それ以外の月は、平筒沼農村文化自然学習館に展示されている昔懐かしい生活用具や、珍しい農具などを一つ一つ取り上げ、解説を加えながらご紹介します。

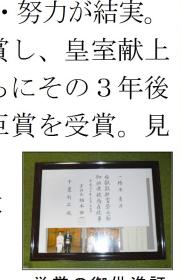


### とよさとの人間国宝 献上米生産2回の快挙 千葉利広さん(加々巻)

千葉利広さんは昭和36年生まれの57歳。献上米を二度にわたり生産する快挙を達成、極上米生産で知られる気鋭の担い手です。

良質米の研究や技術向上に奮闘する農協の稻作部会に所属し、こだわりのササニシキ復活プロジェクトに参画。優秀な仲間と日頃から極上の米づくりに切磋琢磨しながら、部会の若きリーダーとして活動。

2014年、部会と自身の研究・努力が結実。ついに農林水産大臣賞を受賞し、皇室献上米の栄誉に輝きました。さらにその3年後の2017年、再び農林水産大臣賞を受賞。見栄えも食味も最高の米として評価を受け、一人で二度の献上米生産は希有な例であり、宮城県でも初の快挙です。



### とよさとの人間国宝 佐々木 金三さん 認定書をお届けしました



究極の良質米、皇室献上米を同地区から連続して生産する『献上米連覇』を達成した横町の佐々木金三さんに認定書を贈呈しました。

また、境沢揚水機場の世界遺産認定証は美土里ネット豊里にお届けしました。



### 豊里耕土を潤す 境沢揚水機場



豊里耕土1,200haを潤す  
境沢揚水機場(鶴波)

## くりこま商家のひな祭りを見学 ～女性セミナー移動研修～



2月28日、女性セミナー第6回学習会を開催。29名の皆さんが参加しました。

今回は、「くりこま商家のひな祭り」が開かれている栗原市への移動研修。今年度最後のセミナーで、初めに閉講式を行い、皆勤の方に記念品を差し上げました。

この日は風もないらかな好天に恵まれ、皆さんご機嫌の出発となりました。

メイン会場の「雛のみち」には12時前に到着。昼食会場もこの一角にあり、工夫をこらした吊し飾りなどでいっぱいでした。

メイン会場では、由緒あるひな人形が軒並み展示されており、それに加えて吊し雛もみごとでした。

また、千年以上の歴史をもつ日本最古の染色技法の「正藍染(しょうあいひやしづめ)」も展示されており、



草木染めのみごとな吊し飾りも多数展示  
皆さん一様に興味深く説明を聞いていました。

正藍染は、独特の淡い藍色が美しく、その布を使った吊し飾りは、気品ある爽やかな趣きでした。

## くりこま商家のひな祭り ～女性セミナー移動研修～

くりこま商家に古くから伝わる江戸時代後期からのひな人形を多数展示。今年で19回目を数える。

また、日本古来の「正藍染」とその技法で染めた草木染の吊し飾りも展示。様々なイベントで賑わう。

### シニアいきいきセミナー移動研修

## 春を告げる吊し雛めぐりを楽しむ



3月5日、シニアいきいきセミナー第6回学習会を開催しました。

展示されており、ゆっくり揺れる吊し飾りを見上げながら、「きれいだね」という声も聞かれました。

続いて市街の「まちの駅醸室(かむろ)」に移動。ここは、今回の吊し雛めぐりのメイン会場で、素朴で愛らしい吊し雛が会場いっぱいに展示。数の多さだけでなく、色鮮やかで華やかな飾りを堪能しました(写真上)。

昼食後「道の駅三本木」に移動。ここは伝統的な吊し飾りが展示され、華やかな飾りとともに地味ながら氣品のある飾りもあり、皆さん感心していました。

今日は「春を告げる吊し雛めぐり」をテーマに、大崎市にある3ヵ所の道の駅などで公開されている吊し雛を巡ります。当目は、あいにくの曇り空でしたが35名の皆さんが元気に参加。

東日本大震災の被災者とともに製作した2011個の吊し雛が展示されている岩出山の『あ・ら・伊達な道の駅』に向けて出発しました。

古川を過ぎたあたりから雨模様となり、道の駅に着く頃には道路が濡れる状況でした。相変わらずの賑わいを見せる道の駅の特設会場には、みごとな吊し雛が



伊達な道の駅で展示される吊し飾り

### おもろい碁将棋サークルの集い

## 『舌戦』も楽し、和やか交流



3月11日、公民館和室において、第13回碁将棋サークルの集いを開催しました。

将棋猛者1名が加わり、総勢30名(うち小学生16名)の会員数を数えるまでになりました。

東日本大震災から丸7年のこの日、小学生5人を含む16人の愛好者が参加し、震災時のことを話し合いながら趣味を楽しみました。

対局でおもしろいのは棋戦よりも『舌戦』。この日も一手指すたびに愉快な言葉の応酬があり、互いの心理作戦?に周りの観戦者は大笑いでいました。

このサークルは、回を重ねるごとに会員数が増え、参加者も増加しています。今回は大崎市田尻からの

和やかな雰囲気の中、充実した交流を満喫しました。